

平成 25 年度

# 事業報告

(第 3 期)

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

一般財団法人 宇宙科学研究イニシアティブ

# 事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

## I. 法人の概況

### 1. 設立年月日

平成23年12月2日

### 2. 定款に定める目的

「次代を拓く科学技術の課題への貢献をめざし、連携する大学、国立機関、及び民間事業者等を主体とした団体、個人の支援を仰ぐことによって、新技術望遠鏡の製作、観測用天文台の建設及びそれらの公開事業や啓発に関する事業を行い、あわせて、宇宙・天文の普及事業を通じて、人類の新たな価値観、豊かな文化・社会を醸成し、その持続的発展に寄与することを目的とする。」

### 3. 定款に定める事業内容

1. 新技術望遠鏡の製作、天文台ドーム整備などに関わる活動
2. 新技術望遠鏡の公開活動と、関連する啓発活動
3. 事業実施に必要な資金の調達と、運営全般に係る活動
4. 前各号に掲げるもののほか、この財団の目的を達成するために必要な事業

### 4. 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
一般賛助会員	47名	+6名
法人賛助会員	0名	±0名
合計	47名	+6名

### 5. 主たる事務所の状況

主たる事務所	京都市左京区北白川追分町京都大学理学部4号館天文台分室内
--------	------------------------------

注：平成25年7月24日付で、財団の主たる事務所の住所を、東京都品川区から京都市に移転登記した。(第2回評議員会決議による。)

## 6. 役員等に関する事項

### 役員

役職	氏名	就任年月日
代表理事	藤原 洋	平成23年12月2日
理事	舞原 俊憲	平成23年12月2日
理事	荻野 司	平成23年12月2日
監事	新井 佐恵子	平成23年12月2日

### 評議員

役職	氏名 (降順)
評議員長	海部 宣男
評議員	狼 嘉彰
評議員	柴田 一成
評議員	杉山 直
評議員	林 正彦
評議員	福武 總一郎
評議員	吉田 道利

## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

当財団法人の会員および一般の天文ファンに対して、本財団と連携している 3.8m 望遠鏡プロジェクトチームの活動報告のためのウェブサイトの活動報告ページの日常的な更新、ニュースレターの発行・掲示、および財団主催または共催の宇宙科学に関するイベント告知などを行ってきました。とくに年度当初の「宇宙天文光学 EXPO 2013」には、京都大学のメンバーが中心となって研削加工で仕上げられた分割鏡の 1 枚ほか CGH 干渉計や極限補償光学装置のデモ機を持ち込んで、3.8m 望遠鏡とその関連技術について広く興味を示してもらうことができました。

25 年度の後半には、SARIF 事務局長を中心にして浅口市と岡山観測所と連携しながら浅口市における講演会を企画し実施しています。例えば、1) 8 月 31 日：地元への望遠鏡建設予算計画等の懇談会[長田、平野らと地元責任者]および子供を対象にした望遠鏡計画や天文一般の講義 [長田])、2) 11 月 24 日：京都大学 3.8m 望遠鏡講演会(浅口市中央公民館)および地元教育関係者との懇談会などを行ってきました。

年度末には望遠鏡の建設費については予算化(補正予算)が決まり、京都大学の望遠鏡チームメンバーを中心に、具体的な望遠鏡本体の建設実行計画(仮設ドーム建設計画を含む)を立案しています。

## 2. 役員会等に関する事項

当期に開催された理事会、評議員会、総会等は以下のとおりです。

開催日	会議名	議事事項等
平成 25 年 4 月 24 日	理事会	平成 24 年度の財務諸表と事業報告書及びこれらの附属明細書の承認した。 定時評議員会招集・議案等の決定した
平成 25 年 5 月 22 日	評議員会	平成 24 年度の事業報告書及び附属の決算関連の明細書の承認した。また事務局（財団の主たる事務所）を京都市に移転することを決議した。 当財団法人の活動方針に関する意見交換を行った
平成 25 年 7 月 24 日 平成 25 年 11 月 20 日	事務局会議	財団の主たる事務所を京都市左京区北白川京大理 4 号館天文台分室内にすること(登記確定)を確認し、当面の活動方針を決めた。 なお収益事業の廃止届が認められた結果、法人税の納付義務がなくなり、24 年度分の還付を受けた。

## Ⅲ. 法人の課題

専任の事務局長と事務局員メンバーによって企画策定を今後より活発化させる必要があります。

また当財団法人が公益財団になるための条件を満たす努力を行うことが重要であり、そのため実質的に公益財団と同等の決算およびその公告を行うことが求められます。

財団の目的である望遠鏡の製作に関する資金面の支援のために、会員の大幅な増加を期するため、に、会員募集の宣伝活動や科学啓発のためのセミナー等のイベント活動を企画し遂行する必要があります。

## 平成25年度正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
(1) 經常収益			
① 基本財産利息収入	308	191	117
② 基本財産償還差益	0	0	0
③ 賛助会員会費収入	140,000	1,240,000	△ 1,100,000
④ 法人会員会費収入	0	0	0
⑤ 寄 付 収 入	0	0	0
⑥ 雑 収 入	77,000	8,006	68,994
經常収益計	217,308	1,248,197	△ 1,030,889
(2) 經常費用			
① 事業費	240,691	132,520	108,171
3.8m望遠鏡研究開発および 製作プロジェクトの助成	0	0	0
普及啓発事業費	240,691	132,520	108,171
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
② 管理費	397,527	400,977	△ 3,450
人件費	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
委託業務費	0	307,387	△ 307,387
謝金	0	0	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	189,727	48,380	141,347
事務所借上費	0	0	0
通信運搬費	0	19,950	△ 19,950
什器備品費	0	0	0
光熱水料費	0	0	0
消耗品費	0	6,750	△ 6,750
雑費	60,800	1,010	59,790
租税公課	147,000	17,500	129,500
③ 棚卸資産減少額	0	0	0
經常費用計	638,218	533,497	104,721
当期經常増減額	△ 420,910	714,700	△ 1,135,610
当期一般正味財産増減額	△ 420,910	714,700	△ 1,135,610
一般正味財産期首残高	2,134,728	1,420,028	714,700
一般正味財産期末残高	1,713,818	2,134,728	△ 420,910
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,026,288	3,026,288	0
指定正味財産期末残高	3,026,288	3,026,288	0
III 正味財産期末残高	4,740,106	5,161,016	△ 420,910

## 平成25年度貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
普通預金	1,713,818	2,134,728	△ 420,910
現 金	0	0	0
流動資産合計	1,713,818	2,134,728	△ 420,910
2.固定資産			
(1) 基本財産			
貯蔵品	3,026,288	3,026,288	0
普通預金	0	0	0
基本財産合計	3,026,288	3,026,288	0
(2) 特定資産			
基金引当資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
固定資産合計	3,026,288	3,026,288	0
資 産 合 計	4,740,106	5,161,016	△ 420,910
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1.指定正味財産			
普通預金	0	0	0
貯蔵品	3,026,288	3,026,288	0
指定正味財産合計	3,026,288	3,026,288	0
(うち基本財産への充当額)	(3,026,288)	(3,026,288)	
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	1,713,818	2,134,728	△ 420,910
正味財産合計	4,740,106	5,161,016	△ 420,910
負債及び正味財産合計	4,740,106	5,161,016	△ 420,910

平成25年度財産目録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金		
りそな銀行五反田支店	1,535,536	
郵便貯金(普通)		
〇〇八店 6583793	178,282	
普通預金合計	1,713,818	
現 金		
現金合計	0	
流動資産合計		1,713,818
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	0	
普通預金	0	
貯蔵品	3,026,288	
基本財産合計	3,026,288	
(2) 特定資産		
基金引当資産		
普通預金	0	
特定資産合計	0	
固定資産合計		3,026,288
資産合計		4,740,106
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	0
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
正味財産		4,740,106